

研修内容

必修（座学）

A：総論+総括（3.5時間）

- 小児薬物療法における薬剤師の役割を理解し、実践できる。
- 小児を理解するための発達小児科学、小児疾病、母子・小児保健の概要を理解する。
- 小児の薬物動態の発達変化を説明できる。
- 小児（及び病気を持った小児）の心理・行動を理解し、その支援方法やその役割について述べることができる。
- 代表的な小児疾患について理解し、その標準的な薬物療法について実践できる。
- 地域における小児を取り巻く環境を理解し、必要に応じた行動ができる。

選択（実習）

B：調剤部門（3時間）

- 未承認薬、適応外薬使用への適切な助言ができる。
- 小児剤形の必要性を理解し、問題点について説明できる。
- 小児の病態に配慮した薬用量と剤形・投与経路の提案ができる。

C：製剤(TPN)部門（3時間）

- 小児における経腸栄養剤の特徴等について述べる、経静脈栄養について助言ができる。
- 小児期の臨床検査値の違いを説明できる。
- 小児における TDM の役割を説明し、有効に活用できる。

D：病棟部門（3時間）

- 保護者に対して小児医薬品の適正使用に関する助言ができる。
- 小児に対するくすり教育や服薬指導を実践できる。

E：妊婦・授乳婦薬物療法（3時間）

- 母乳哺育の意義と母乳への薬剤移行の考え方を知り、助言できる。

（参考：小児薬物療法認定薬剤師，行動目標）

スケジュール

1日コース	
時間	内容
9:00～12:00	A（総論）
12:00～13:00	休憩
13:00～16:00	B/C/D/E（選択）
16:00～16:30	A（総括）

2日コース		
時間	内容（1日目）	内容（2日目）
9:00～12:00	A（総論）	B/C/D/E（選択）
12:00～13:00	休憩	休憩
13:00～16:00	B/C/D/E（選択）	B/C/D/E（選択）
16:00～16:30		A（総括）